

修学旅行

～音楽の旅を終えて～



小さな発見たち

212 入江 十和歌 (愛知教育大学附属岡崎中学校出身)

オーストリアでの素晴らしい出来事や経験は他のクラスメイトが感想を紹介してくれると思うので私は小さな発見たちをお届けできたらと思います。はじめに、現地のエレベーターには閉まるボタンがほとんどなくクラスメイトと驚いた瞬間がありました。「ボタンを押さなくても閉まるのを待てばいい」という考えみたいです。そしてカフェではウェイトレスさんを急かすことなく、待つんです。ゆっくりで良いよという心の現れなんですって。そして市場では屋間からワイン。こんなご時世嫌な顔をされることなく明るく温かく迎え入れてくださった地元の方々。ゆったりとした空気感や温かさから心に余裕を持つということがどれほど素敵なことかに気づけました。名高い作曲家たちはここで素敵な音楽を作り上げました。心の余裕は温かな人間を育て、素敵な音楽を生み出すことができるのではないかと思います。少しの出来事から音楽活動ははじめ人生に大きく考え方の変わる旅行となりました！

オーストリアの景色

212 佐藤 奈桜 (名古屋市中村区立白鳥中学校出身)

私はこの修学旅行で、日本では見ることのできない景色をたくさん見ることができました。
ザルツブルクの新市街と旧市街の間にあるザルツァハ川に架かるマカルト橋には恋人たちが愛の南京錠を掛けています。その橋でギターやバンドネオンなどいろいろな楽器を弾いている人たち。それに実際にモーツァルトが演奏していたザルツブルク大聖堂やブルックナーの亡骸がおさめられているザンクト・フローリアン修道院でパイプオルガンに感動しました。
年末年始にウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のニューイヤークンサートが行われていることで有名なウィーン楽友協会では、たくさんのホールがある中、私はテレビでみたことのある黄金ホールに行けたことがとても嬉しかったです。いろいろな音楽家のことを知ることができてとても楽しい修学旅行でした。

五感で感じた本場の音楽

212 橋本 歩美 (瀬戸市立水無瀬中学校出身)

私たちはザルツブルクとウィーンへ修学旅行に行きました。有名な宮殿や教会、オペラ鑑賞や平和学習としてマウトハウゼン強制収容所を訪れ自由班別行動を行いました。
ガイドさんの説明を聞き見学をすることで新しいことや知っていたことが点と点が繋がったように流れて学べたことが面白かったです。平和学習ではあってはいけないことが普通に行われていた事実を肌で感じました。オペラ鑑賞では椿姫を鑑賞し本場の音楽を五感で感じる事ができ勉強になりました。自由班別行動では決められた範囲と時間の中で知らない土地を協力しながら散策することで班での協力が更に高まったと思います。今回の修学旅行では肌や五感で感じられることが多く、その余韻が今も残っていて忘れられない唯一無二なものになりました。そのように感じられたのは周りの方々の支えがあったからこそだと思っています。本当にありがとうございました。

たいせつな言葉

212 石田 和佳子 (あま市立甚目寺南中学校出身)

新型コロナウイルスの関係で心配していた修学旅行ですが、校長先生や近畿日本ツーリストの方のおかげで予定通り行うことができました。私たちは平和学習としてマウトハウゼン強制収容所をガイドさんの説明と共に見学しました。収容所は山奥にあり、収容所を囲うようにできた塀は高く建物から圧のようなものを感じました。ガイドさんは説明の中で「ここにいた人たちは生きるために働いていたのではなく、死ぬために一生懸命働いていた」と言いました。この言葉が心に重くのしかかり、ここで起きた残酷なことを目だけではなく全身で感じました。普通の家族で行く旅行と違い、たくさんの教会や宮殿を1日で見えて充実した修学旅行でした。たくさんの作曲家について触れることができ、音楽家への道に1歩近づけた気持ちになりました。

Schedule [行事予定]

4月	7日 火	入学式
	8日 水	始業式
	9日 木	実力考査、3年生進路ガイダンス
	10日 金	EP(英)説明会、2年生MP説明会 就職ガイダンス
	11日 土	EP(美)説明会、1年生MP説明会

4月	22日 水	1年生フレッシュマン合宿[～23日]
	23日 木	3年生上山研修
	24日 金	2年生校外学習
	25日 土	休校日
5月	26日 日	PTA常任委員会
	27日 月	クラブ総会
	28日 火	PTA総会、学級懇談会
	29日 水	体育大会
	30日 木	ウエスカ祭

5月	26日 火	中間考査[～30日]
	6日 土	PTA常任委員会
	10日 水	生徒会立会演説会
	13日 土	創立記念日[休校日]
6月	19日 金	漢字検定、数学検定
	21日 日	珠算・電卓実務検定
	27日 土	地域懇談会
	28日 日	地域懇談会
	29日 月	期末考査[～7月3日(金)]

同朋和敬

4 学校通信
Doho High School Community Press
Vol.218 7 APR 2020

同朋高等学校 学校通信編集委員会 宇佐美 平 岩 久 野 杉 浦

名古屋市中村区稲葉地町7の1 TEL 052-411-1159

同朋和敬

同朋生が創り上げる
感動の卒業式

Doho High School Community Press

4
Vol.218
学校通信



同朋高校の卒業式には、卒業生も保護者も在校生も教職員も皆が参加する。卒業生429人の言葉を紡いで作った合唱構成詩は、参加者全員の心に強烈なメッセージを残した。卒業生たちが作詞・作曲した合唱曲『Alnair』を誇らしげに歌う横顔。「吹く風は優しくないけれど、君がいるだけで立ち向かっていける」そう高らかに歌うことができるような仲間を作った卒業生。新たな仲間を迎え入れ、卒業生に負けないような高校生活を送っていこう。

同朋高等学校長 滝 敏行

2019年度 卒業式

本校の卒業式は、卒業証書授与式に続き、卒業生による合唱構成詩が披露されます。
今年度は、3年間の歩みや思い出を「物語」として紡ぎ、未来へと踏み出す決意を表しました。

合唱構成詩「物語」

「希望を抱き」
「不安を抱え」
「僕・私たちの高校生活が始まった」

～入学式～

2017年4月6日
あたたかく柔らかな春風が体いっぱいを感じられる今日、私たち新入生は、同朋高校に入学することができました。
隣の君に話しかけよう。そう思っていたけど、なかなか話しかけられない。
「ねぇねぇ中学どこ?」「浄心中学校」「あ…そうなんだ」「うん…」
全然話が続かなかったけど、君が最初に話しかけてくれた。それが私は嬉しかったよ。

～フレッシュマン合宿～

勉強合宿と言われていたフレッシュマン合宿。勉強嫌いだし行きたくないなあ。でも、友達をいっぱい作るチャンス。
分からない問題が出現!周りに聞けずにずっと一人で悩んでいた。勇気を出して君に聞いた。そのおかげで見事基礎検合格!
私は最初から愛情部屋へ。あ、仲間発見!勉強が苦手な君と一緒にだったから、嫌いな勉強も楽しかったよ。
最終日に行われたドッジボール大会。優勝を目指してクラス全員で団結!聞こえてくる女子からの声援。カッコいい所見せられたかな?
この合宿でクラスの雰囲気明るくなった。この学校なら大丈夫って思えた瞬間だった。

～合唱orダンス～

「学年レクは何をしよう?」みんなの心を一つにできるものになりたい。クラ連で何度も話し合った結果、各クラスでダンスか合唱をすることになった。
「合唱をやったことがないんだよね…」「やったことないなら、



合唱やるしかないでしょ!」本番で歌った本気の合唱。初めての経験にうるっときた。

前日まで沖縄にいた先生。本番では完璧なダンスでみんなびっくり。ホテルの部屋で練習してたんだって!

～2年～

「学校でスマホが触れない!?!」「なーにー!!」
2年生になり、スマホを預けるという制度ができた。いろんな手段を使って何度も取り返そうとしたけど、気付いたらそんな必要は無くなっていた。自然と会話ができて、友達が増えたんだ!
「セーフ」「アウト」朝から先生いつものやり取り。
あ!って思った時には、もう遅い。「スカート!リボン!」いつもごめんなさい。

4限のチャイムと共に聞こえてくる地響き。その正体は同朋でよく見る食堂ダッシュ。同朋に食堂がある限り食堂ダッシュの歴史は途絶えることはない。

～Let's 60～

みんなにもっと同朋を好きになってもらいたい!同朋でよかったって思ってもらいたい!私たちの手で新しい歴史を作りたい!そんな思いで始めたレッツ60。
私たちを支えてくれる人たちのお手伝いをした。同じ立場になったからこそ苦労を知った。
おばちゃんたちは私たちの名前を覚えてくれてる!本当は、おばちゃんに会いに購買や食堂に行ってたんだ。
モップこんなに重い!?自販機前をきれいにするだけでもへとへと。
構成詩を読んで、学校の歴史を知った。私たちの当り前は当たり前じゃなかった。先輩方の努力と涙があって、今の私たちがいる。この歴史を伝え、想いを受け継いで行くことが私たち同朋生の役目。

～人を幸せにする活動～

地域の方々に恩返しをしたいという思いで始まった「人を幸せにする活動」。

私たちが人を幸せにできる物は音楽。老人ホームや施設で、演奏した。

私は学童に行き、楽しんでくれるゲームを考えた。ここから、自分のやりたいことを見つけた。

雨の中でのゴミ拾い。ありがとうという言葉で胸がじーンと熱くなった。

～修学旅行～

もし、今戦争が起きたら、私たちは戦場に何をもっていくだろうか。74年前、16歳の少女たちが戦場へもっていったのは教科書だった。戦時中の人々が考えていた「平和」とは何だったのだろうか。
犠牲になった子供たちの遺影。壁に掛けられた彼らの笑顔を見ると胸が苦しくなった。戦時中、この場所に身を隠していた人たち。死と隣り合わせの恐怖は想像もつかなかった。忘れてはいけないことから目を背けず、これからの平和を私たちが築き上げていく。
修学旅行で一番心に残ったのは、おじいとおばあさんの優しさ。おばあさんの愛情がこもったサーターアンダギー。おじいさんが連れてってくれたグスク山。いろんな所に連れてってくれてありがとう!別れの前に言われた「いつでも帰っておいで」私の目から涙が溢れた。
海の中にはきらめく別世界が広がっていた。ウミヘビは危険!そう聞いていたのに、インストラクターのきんちゃんウミヘビを手掴み!
私は急遽、大太鼓を持たされた。最後はみんなでエイサーを踊って大盛り上がり。
私たちの団に魔の手が迫っていた。それはインフルエンザウイルス。次々とクラスの仲間が感染していく。「はい、チーズ!」写真を撮るときそこには、もう君はいなかった。沖縄に行けなかった子たちのためにクラスでお土産を買った。卒業旅行でみんなと沖縄に行きたいな!

私たち音楽科はヨーロッパに音楽や戦争の歴史を学びに行った。ユダヤ人収容所に収容されていた人々がどんな気持ちで過ごしていたのか、僕たちには想像することができない。亡くなった

方たちの名前が何千、何万と彫られていた。それを見て、胸が張り裂けそうになった。

音楽の原点を知るために、さまざまな場所を巡った。オーストリア1番の有名人、モーツァルトの結婚式と葬儀はシュテファン大聖堂で行われた。ここで結婚式をしたら、一生忘れないだろうなあ。

劇場でみたオペラ「コウモリ」。ウィーンの大きな劇場、フォルクスオーパーで日本とは違う観劇のマナーや表現の方法に圧倒された。

初めて聞いたドイツ語。注文するのに一苦労。注文が伝わり、お会計の時には、店員さんからのパーフェクト。心が通じて嬉しかった。

～体育大会～

宣誓。我々同朋生一同は、群団の仲間を信じ、12群団分の思いを乗せて正々堂々と戦うことを誓います。
同朋生全員が一体となった群団エール。盛り上がっているみんなの姿を僕は目に焼き付けた。
男同士のプライドをかけた騎馬戦。「騎手は君に決めた」。本番、君は大活躍!勝利の汗を拭いた時、君を支えた僕の手は「くっさー」。
綱引き。結果はまさかの西軍全勝。絶対地面傾いてたって!体育大会の目玉である応援合戦。1、2年生の時は、先輩たちが悩んだ顔を見たことなかった。だから、群団をまとめるなんて簡単なことだと思っていた。でも、いざやってみると、思った通りには進まない。人をまとめることは、簡単ではなかった。
ダンスを踊れなかった彼らがある日、みちがえるようにダンスが上達していた。君がみんなを集めて練習してくれてたんだね。本当の君を知れた。
体育大会前日、事件発生!メガホンが足りない!「じゃあ。今から全員分買いに行こうよ!」「全員で協力すれば何とかかなるよ!」。当日までに101個のメガホンを集めることができた!

毎日がただ過ぎていき、団長である君の白髪は増えていった。君は、悩んでいても態度には出さなかったね。もしタイムスリップできるなら、君に言ってやりたい。「お前なら大丈夫」「自信を持って!」。





～文化祭～

体育大会で深めた絆。そんな仲間たちに、普段とは違う自分を見せたくて野外ステージに立った。

いつもふざけてるあの子。野外ステージで踊ってる姿はまさにアイドル。すこし惚れた。

今しかできないことをやりたいと思い、書道パフォーマンスに挑戦した。前に立つのは苦手だったけど挑戦してよかった。

このクラスでなら、絶対アカデミー賞を取れる。そして挑んだ演劇・パフォーマンス。

君がやることになったアリエル。とてもセクシーな衣装、ダンスの中で舞い上がる足。お姫様抱っこにはキュンとしたよ♡

初めて任されたリーダーという役目。本当はみんなに思っていることをズバズバ言いたくないからやりたくない。でも、クラスメイトからの「ありがとう」の言葉。涙が止まらなかった。

君の代役を任された。何であいつがって言われるんだろうな。だけど前日、君から言われた「明日は頼んだよ」私を受け入れてくれて嬉しい。でも、君が出られないのが悲しい。不思議な感覚だった。

隣の教室から聞こえてくる太鼓の音。負けたくない、そう思い一人ひとりの気持ちが高まった。結果、アカデミー賞は君たちのクラスだった。でも、君たちが頑張ってたことを知っていたから心からおめでとぅって思えたよ。

アカデミー賞を取れたこと以上に、他のクラスのみんなが泣きながら「おめでとぅ」と言ってくれたのが嬉しかった。僕たちはライバルだったけど、同時に学年の仲間だと気づいた。この学年で競いあえて、本当によかった。

～学科選択～

文系

クラス替えは大はしゃぎ。あの子と同じクラスになれる確率は7分の1。お願い…!あの子と同じクラスになれますように。

美術系

描き始めたら止まらない大好きな絵。学校行事で私たちの得意分野が活かせて良かった。

理系

2年生の1学期、数学のテストで過去最低の平均点。約1クラス分の欠点者が出た。スピード速すぎ、難しすぎ、ついてけなあーい!

商業科

同朋高校史上初、全員で愛知県知事から職業教育技術顕彰を受領!つらい検定もみんなで支えあったから、全員で表彰してもらうことができた。私はとても誇りに思う。

音楽科

音楽科に入って舞台に立てる喜びを知れた!大好きなみんなの演奏が聴けるのも今日が最後だと思うと寂しい。

～部活～

3年間を捧げた青春。僕らの青春はここにある。

私はみんなの笑った顔が大好き。だから、みんなが文化祭や体育大会で輝いている姿を写真に残せてよかった。

私たちは毎日夜遅くまで練習をしてきた。見に来てくれたお客さんに「良かったよ」と言ってもらえて嬉しかった。

高校最後の試合。毎日努力してきた技が決まり勝つことができた。「あんな綺麗な技ははじめて見た。」負けることばかり考えていた私は、先生の言葉で自信がついた。

部活のみんなは誰よりも長くいたから家族のような存在。切磋琢磨しているライバルであり助け合える仲間。君が最後の試合で決めた1点。この1点は忘れない。

私は3年間マネージャーをやっていた。私だけ先生やコーチに怒られることが多くて、毎日辞めようと思っていた。けど、みんなが頑張っている姿が1番好き。みんなのマネージャーになれてよかったと心から思う。

～後輩へ～

私たちは、3年間いろんなことに挑戦してきた。

私は自分から話しかけることを。

私は早起きすることを。

私は自分の意見を伝えることを。

私は部活

私は勉強

私はピアノ

私はクラ連

それぞれ挑戦してきたことは違う。

でも、私たちはここで、変わるきっかけを見つけた。

後輩のみんなには、挑戦したいことがありますか?

初めの一步を踏み出す勇気が大事。その一步を踏み出すことで、未来は変わる。

失敗しても絶対に支えてくれる仲間がいる。

だから、自分たちが本当にやりたいことに挑戦してください。君たちなら絶対に大丈夫。

「つらい時」

「不安な時」

「誰かが傍に居てくれた。」

「今まで伝えられなかった感謝を」

「今ここで伝えます。」

～先生へ～

私たちは先生方にたくさんの言葉をもらいました。

「君にしかできないこと、君だけの良さがあるんじゃない?」

「誰も分かってくれないって思うかも知れないけど俺は分かっているから。」

「君なら絶対に成功できる。」

「君はとても輝いているよ。」

先生方の言葉でどれだけ前を向けたでしょう。個性豊かで私たちと同じ目線になって接してくれた先生方。3年間ありがとうございました。

～家族へ～

いつも、学校でのストレスを家に持ち帰って、ぶつけてごめん。

本当は、自分でできることも、任せてばかりでごめん。

私のことを心配して言ってくれてるのに、反抗して、生意気なこと言ってごめん。

それでも、朝早くから私のためにお弁当を作ってくれたね。照れくさくて言葉にはできなかったけど、嬉しかったよ。

帰るのが遅い私にも温かいご飯を作ってくれた。家族の温かさが心がほっとしたよ。

疲れている姿を私に見せないでいつも笑顔でいてくれた。私もそんな風になりたい。

家に帰ると欠かさず、「お疲れさん」と声をかけてくれた。その一言で私は毎日頑張れたよ。

いつも私の考えを否定しないで、味方でいてくれた。だからつらい時も乗り越えられたよ。

今度は私が頼ってもらえるくらい強くなります。ここまで大切に育ててくれて、ありがとうございました。

～君へ～

いつも笑顔で誰よりも強い君。

そんな君はみんなの前で弱音を吐かないよね。

それが君のダメなところ。

私は君を変えたい。

君に頼ってもらいたい。

君を笑顔にしたい。

君は私を変えてくれた。

君がいなかったら今の私はいない。

私の話を聞いてくれた君。

私のそばにいてくれた君。

私を受け入れてくれた君。

そんな君に伝えたいことがあります。

支えてくれてありがとう。

今日で高校生活の幕は閉じる。

そして一人ひとりの道を行く。

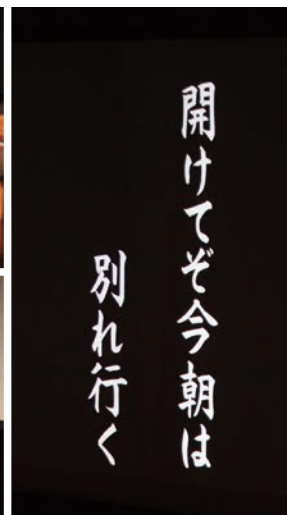
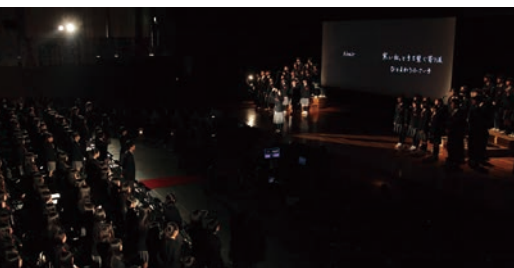
勇気を持って踏み出そう。

可能性は無限大だ!

「僕たちに吹く風は優しくないけど、」

「私たちだけでも立ち向かえる。」

「さあ、新しいストーリーの幕開けだ。」



学 校長式辞

梅のさわやかな香りが漂い、春の訪れを感じるこの佳き日に卒業式を挙行できますことは、本校にとりまして大きな喜びです。

ただいま卒業証書を手にした卒業生の皆さん、卒業おめでとう。皆さんが手にした卒業証書は、一人ひとりの努力で得られたことはもちろんですが、その陰には家族の方々や先生や友達など、多くの人たちの励ましや支えがあったことを忘れないでください。

さて、卒業生の皆さんにとって同朋高校はどのような学校だったでしょうか。私から見た卒業生の皆さんの印象は、学内の活動にとどまることなく、学外にある広い世界に向かって積極的につながっていこうとチャレンジを続けた学年という印象です。「人をしあわせにする活動」と称した地域での清掃活動や施設での演奏会、学童や幼稚園では子供たちと交流し、元気になって学校に帰ってきた姿を見ると、幸せになったのはむしろ皆さんだったような気がします。生徒の手で学校創立60周年を祝い、大学生とコラボして古着を集めるボランティアへの取り組みも、「高校生だって変えていける」という自信に満ち溢れる姿を見せてくれました。体育大会では群団を1つにまとめ上げ、文化祭では皆さんの演劇やパフォーマンスに観客は涙し、感動をもらいました。商業科での検定試験に向けた取り組みでは、全員が愛知県知事から表彰されるという、本校始まって以来の快挙につながり、1年次に音楽科創設50周年記念演奏会に関わった音楽科は、学校行事ではいつも芸術性あふれる演目を披露してくれました。

こんなに生徒が自主的にチャレンジし躍動した学年は、そんなにはないことでしょう。きつこうした体験は、社会に出てからも皆さんの人生を支えるものになるはずです。この3年間で皆さんが何を感じ、どう成長したかは、この後の卒業式第2部合唱構成詩「物語」で語られることを楽しみにしています。

話は変わりますが、本校の教育の方向性が間違いないと改めて感じることがありました。劇作家であり演出家の平田オリザさんの著書やコメントを読んだ時のことです。平田さんが指摘された大切なことを2つお話しします。

まずは、「コミュニケーション能力をどう育てるか」についてです。企業が採用の際に求める力として最も注目されているのが「コミュニケーション能力」です。裏を返せば、企業だけでなく、世の中全般的に、コミュニケーション不足が招く問題が多いということです。平田さんは「本来、家庭で自然に育つはずの『コミュニケーション能力』が、少子化や核家族化などのために、育つづらくなっているのだから、学校に『教育プログラム』をつくって育てるべきだ」と言います。同時に、「コミュニケーションが苦手な人が一定いることを、理解しなくちゃいけない。コミュニケーションができないのは、資質や人格に問題があるのではなく、意欲の問題だから、学校で訓練すればだれでも最低限の『コミュニケーション能力』は身につく」と言います。そして、学校にこの能力を育てる科目が無いので、平田さん自ら全国の学校に出向き、演劇を

来賓祝 辞

PTA会長 野口 裕司

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。
思い起こせば3年前、皆さんがこの同朋高校の生活に期待と少しの不安を抱きながら入学されたことが、つい最近のことのように思い出されます。
同朋高校での3年間は、どのような日々だったでしょうか？学業はもちろんのことですが、入学して間もなくに実施されたフレッシュマン合宿では、新しい友達と勉強を教えあい、友情が深まったことでしょう。沖縄やオーストリアへの修学旅行など、深い思い出となっていることでしょう。体育大会や文化祭などの学校行事では、仲間とぶつかりながら成し遂げた達成感を、部活動では厳しい練習や挫折を味わったり、また乗り越えたりと、充実していたことと思います。

こうして皆さんの姿を見ますと、嬉しさは言うまでもなく、頼もしさや心強さを感じます。3年間という長い人生のごくごく一握りの時間の中で、皆さんは見違えるように立派に成長されました。これから皆さんは「令和」という新しい時代に羽ばたきます。今まで以上に多くの人と出会い、学び、同朋高校の卒業生として誇りをもって歩んでください。たった一度の人生です。自分らしく、令(うるわ)しく生き、心和む人であってほしいと願っています。

最後になりますが、保護者の皆様におかれましては、PTA活動に惜しいないご協力を賜りましたこと深く感謝申し上げます。

本日はご卒業おめでとうございます。

学校長 梅田 功

授業に取り入れ、能力を伸ばす実践を広げています。幸い、本校でも演劇教育とまではいきませんが、伝統ある学校行事や部活動、アクティブな授業や学習プログラムなどさまざまな装置を使って「コミュニケーション能力」を育てています。皆さんなら、これからどこへ行こうとも、本校で培った「コミュニケーション能力」を活かして頑張ることができるはずです。

もう一つは、日本で文化資本を育てる教育政策が急務だと言われている。文化資本とは、お金以外の学歴や文化的素養といった個人的資産のことです。「本に囲まれた家庭の子供は、自然と本好きになる」というようなことです。経済的格差は縮められても、文化資本の格差は、そのまま貧困の連鎖につながりやすいと言われます。そして平田さんは、文化資本の家庭間格差よりも、地域間格差を問題にしています。地方に住んでいたら、演劇や伝統芸能や音楽など、“生の文化”に接することができないからだそうです。実際、演劇やダンスが学べる高校の数は東京に集中し、東京・神奈川だけでそれらが学べる高校の6割が集中し、大阪・兵庫を含めると8割を占めるそうです。その意味で愛知は「地方」に入るのかもしれませんが、文化資本を育てるには“本物”“いいもの”に触れる以外に方法はなく、それができるのは学校教育だというのが平田さんの持論です。その点でも本校は、「1年に1度は“本物の芸術”を見せたい」という信念で演劇鑑賞を実施し、それを文化祭の生徒演劇やダンスなどのパフォーマンスにつなげてきましたし、同じ同朋学園の名古屋音楽大学や名古屋造形大学との提携も一層進み、音楽や美術など芸術教育では、他校よりも“生の文化”に触れ、生徒たちを伸ばす環境があります。本校は国の教育政策の転換を待つことなく、文化資本の育成にさらに進むつもりですが、皆さんも“本物”や“いいもの”にたくさん触れ、豊かな人生を作り上げてほしいです。

本校の建学の精神である「他者との関わりの中で、あらゆる差異(違い)を認め合い、それぞれが輝く、豊かな人間関係を築く」という“同朋精神”。私たちは、他者との関わりの中で自分を知り、自分を変えることができます。人は、ある時は心の支えになり、喜びを倍に、悲しみを半分にしてくれますが、ある時は傷つけ、裏切ったりもします。その両面を併せ持つのが人なのであって、私たちは、人をそのような存在として受け入れ、生きていくしかありません。私は大学での寮生活を通し、自分とは違う素晴らしい仲間がたくさん出会え、尊敬できる先生にも出会えたことから、人を今まで以上に信じるようになり、自分が変わっていきました。私は大学での生活を通し、「いい関係の構築から、自分が変わっていく」という、本校の“同朋精神”を体験していたのかもしれません。

卒業生の皆さん、本校での3年間の教育に誇りと自信を持ち、堂々と胸を張って社会を歩んでください。卒業生429名の未来に幸あることを祈念し、卒業式の式辞といたします。

保護者お礼の言葉

PTA副会長 小澤 慶子

いくらか寒さも緩み、春の訪れもあとわずかであると気付かされます。本日は、このような卒業式を挙行してくださいまして、誠にありがとうございます。校長先生はじめ諸先生方に心より御礼申し上げます。

時が経つのは早いもので、18年前の小さかったあの頃を思い出します。小さく、腕の中にすっぽりと納まり、ただ泣きだけだったあなた。寝るとほっとし、一緒に寝ると人の体温はこんなに心地よいものなのかと驚いたのを覚えています。

「人生」はよく道にたとえられます。私たちはあなたと手をつなぎ、一緒に歩いたり、走ったり、時にはつまずいて転び、道に迷ったりしました。この3年間は、先生と一緒に歩いてくださりましたね。いろいろな人と出会い、部活動やクラブ連、生徒会や高校生フェス、体育大会や文化祭など、どれも人生の中でもとてもよい刺激となったのではないのでしょうか。苦楽を共にした仲間は、何年経っても仲間です。これからもそういった仲間と出会ってほしいと思います。一緒に手をつないで歩いてきましたが、その手を放す時が近づいてきました。あなたが生まれ「親」になれたこと、あなたのそばで見守れたこと、感謝しかありません。また、子供たちが立派に成長できたのは、校長先生はじめ教職員の皆様が子供たちの自主性を尊重し、明るくご指導くださったおかげです。特に3年生担任団の仲の良さ、チームワークは理想の職場の形だと思います。3年間、本当にありがとうございました。

私の自慢の3年間

「この学年でよかった、私の自慢の学年」3年生全員の前で話すとき、いつもこの話をしたいと思います。どの行事でも真剣に取り組んで、他のクラスのことも応援できる、暖かい学年。卒業式の準備は大変なこともありました。が、大好きなみんなと卒業式で良い時間を過ごしたいから、頑張ることができました。実行委員会のメンバーとは何度も、どのような卒業式を作りたいか話し合いました。一人ひとりの目指す卒業式があり、こだわりを強くもってあきらめずに取り組んだから、最後“みんなで”笑って卒業式を迎えることができたのではないかと思います。

今回の卒業式は「物語」がテーマです。高校生活の中で一人ひとり感じたこと、体験したことは違う。だから、3年生429人分の思いを合唱構成詩に込めたいという気持ちからスタートしました。合唱曲は自分たちの思いを込

メッセージが届いた達成感

今まで実行委員は私には向いていない、面倒くさいと思っていました。しかし、友人が実行委員で頑張っている姿を見た時、私も何か役に立ちたい、何か自分にできることがしたいと思いました。2年生最後に新しいことに挑戦したい気持ちもあったので、今まで遠ざけてきたことに積極的にやってみようと思い、立候補しました。

いざ実行委員が始まると、やはり甘くはありませんでした。何もないところから企画を出していくのは本当に大変でした。企画会議も最初はシーンとして意見すら出しにくい感じでした。何回も会議を重ねる中で、机の配置を変えるなどの工夫をして意見が出しやすいようにしていき、少しずつ活発に交流できるようになりました。初めは実行委員が企画を考えて実行していこうとしていましたが、「うちらだけの企画じゃなくて、在校生みんなの企画にするべきだ」ということに気づき、メッセージカードを在校生全員に書いてもらうという企画にしました。そうして卒業生や式へかける私たちの思いは「い

2年後の未来を想像して

初めての同朋高校での卒業式は色々和新鮮だった。特に卒業生の入場から会場の雰囲気が一気に引き締まったように感じた。私はバラ委員として卒業生が胸につけるバラを作った。卒業式当日の朝、バラを配りに行った時に、廊下で卒業アルバムにメッセージを寄せ合ったり、写真を撮り合ったりする先輩たちの姿を見て、自分の小学校・中学校の卒業式を思い出して切なくなった。式の2部ではメッセージ旗や、保護者の方々・在校生・先生方からの卒業生を送り出す言葉や、卒業生による合唱構成詩などを聞き、あの3年生の先輩たちも、2年前は私たちと同じ1年生だったと想像すると、確実な時の流れを感じた。

自分たちも2年後は送られる立場になる。そう思うと、1分、1秒も無駄には

304 加藤 ひかる（桑名市立陽和中学校出身）

められるように、429人全員で作詞をし、作曲も自分たちで行いました。構成詩は全員で書いた作文「変わったきっかけ」を中心にして、私たちの姿が素直に表現できるように工夫しました。ありのままの私たちの3年間でたくさん詰まった合唱構成詩になったと思います。

卒業式当日、「おはよう!今日頑張ってるね」「すごく良かった」と声をかけてくれた仲間。「堂々として格好良かった」と言ってくれた後輩。卒業しても私たち3年生を心配して声をかけてくれて、リハーサルを見に来てくれた先輩。私はこの同朋高校に入って本当に良かったと思います。たくさんの人に恵まれ、支えられた3年間でした。同朋の先生方、後輩仲間に出会えて、卒業式をやりきれた私は幸せ者です。

「支えてくれてありがとう」

205 吉村 美咲（名古屋市立昭和橋中学校出身）

いものにしたい!」と、どんどん強くなっていきました。

そして卒業式前日。1・2年生が書いたメッセージカードを1枚ずつ卒業生の椅子の裏に貼り付けました。サプライズです。他の実行委員を見ると、全員が3年生のためにと頑張っている姿がありました。最初は名前も知らない、学年もクラスも違う集団で、上手にやっていけるか不安でしたが、この頃の私にはそんな不安なんかありませんでした。みんな同じ思いで、一つになって、作業をしていたのです。作業が終わっても、私たちは皆帰らず余韻に浸っていました。先生に解散と言われても、誰も帰りませんでした。何だか名残惜しくなっていたのです。

当日、ステージに立つ前は不安と緊張でいっぱいでした。しかし、舞台から3年生のたくさんの驚いた顔や笑顔を見たとき、本当に嬉しかったです。こんなに大きな達成感は初めてです。

111 林 優菜（大治町立大治中学校出身）

できないと改めて感じた。合唱構成詩でスクリーンに映されていた写真はどれも輝いて見えて、卒業生の言葉も胸に響き、自分も卒業するまでに、思いきり学校生活を楽しみたいと思った。この1年間を振り返っても、もちろん楽しく過ごせたが、2年生からは検定も増えるし、だんだんと将来の話も現実味を帯びてくるから、残りの時間を常に意識して、楽しいことを探しながら生活していきたいと思う。今のところ卒業したら就職したいと考えているから、私にとっては高校生活が最後の学校生活になると思う。大人になって学生時代を振り返ったときに、良い思い出がたくさんあって、嫌だったことも笑い話にできるような高校生活を、残り2年間で過ごしていきたいと思う。そして、卒業式で見た先輩たちのように立派な姿で私も卒業式に出たい。

2019年度卒業生対象「各種表彰者」

愛知県知事賞 302 太田 水森（名古屋市立日比津中学校出身）

愛知県産業教育振興会賞 310 伊吹 和哉（名古屋市立名塚中学校出身）

名古屋市長賞 309 墨 沙南（名古屋市立浄心中学校出身）

全商協会理事長賞 310 市川 愛梨（名古屋市立港南中学校出身）

日私中高連会長賞 312 松永 実怜（菰野町立八風中学校出身）

愛知県商業教育振興会長賞 311 大形 友希菜（名古屋市立豊正中学校出身）

愛知県私学協会会長賞 304 加藤 ひかる（桑名市立陽和中学校出身）

私学協会優良生徒 302 桜井 純奈（名古屋市立はり中学校出身）

産業教育振興中央会賞 311 中村 和真（名古屋市立豊国中学校出身）

高校生新聞社賞 302 長瀬 雄暉（名古屋市立日比津中学校出身）

卒業生への メッセージ

congratulations
on your graduation

101 大器晩成

102 One team

103 ななころびやおき
七転八起

104 幸あれ

105 人生、一度きり

106 青軍団age↑

107 あいらぶゆう
愛愛優

108 人生はインスタ映え

109 イイネッ

110 確かに光る星となれ

111 百花繚乱

112 笑う門には福来たる

201 「ほうれん草」と「ごま」かけまして
「ここにいるみんな」ととく。
そのころは、会えてよかった。

202 そんなしょうじんあい
尊尚親愛

203 Don't stop

204 明日はきっといい日になる

205 おつか令和

206 one♡Love

207 フォースと共に

208 to be continued

209 朋に歩んで

210 翔

211 フォルテで感謝



柔道部 Never give up

野球部 がきょうしょうじん にんじゅうふげ
我行精進 忍終不悔

陸上部 そんなみいったい
三位一体の協力

サッカー部 1500mも一歩から

男子ソフト部 顔晴る

女子ソフト部 墨球魂

ハンドボール部 飛躍

男子テニス部 ゆうきどうどう
雄気堂々

女子テニス部 勇気は一瞬 後悔は一生

男子バスケ部 光合成

女子バスケ部 継続は力なり

男子バレー部 頑バレー

女子バレー部 ありがとう
夢

バドミントン部 ラブオールプレイ

バトン部 感謝

ラグビー部 不撓不屈

ダンス部 レッゴー CRAZY

女子蹴球部 切磋琢磨

乗馬部 車に乗るなら馬に乗れ

釣り同好会 みんなで釣ると楽しいね

吹奏楽部 絵のない絵本

情報処理部 君が為、桜咲く

演劇部 激情

美術部 猪突猛進

写真部 想いの詰まる一枚に

書道部 精神一到 何事か成らざらん

漫画研究部 エクスカリバー
約束された勝利の剣

料理研究部 未来に向かってcooking

合唱部 next stage

フォークソング部 No music No life

自然哲学研究会 役に立たない知識から
得る喜びは大きい

同窓会 ころろ

食堂 からあげの味を忘れずに
未来に羽ばたこう

高フェス 僕たちの未来

保護者 令しく和む心の人であれ

教職員 たった一度の人生
自分らしく笑顔で歩こう

Club&Award News

生徒の活躍 (2020年1月10日～2月26日まで)

■柔道部

令和元年度愛知県高等学校新人体育大会 柔道競技

女子48kg級 第2位 山本 香来 (108) 扶桑町立扶桑北中学校出身

女子57kg級 第3位 小島 早代伽 (110) 安城市立東山中学校出身

女子63kg級 第3位 井上 心月 (105) 岩倉市立岩倉中学校出身

女子63kg級 第3位 村松 琴音 (210) 岡崎市立矢作北中学校出身

令和元年度愛知県高等学校新人体育大会 柔道競技

女子団体 第3位

■サッカー部

第31回AS.Laranja CUP Division1

第3位

■ラグビー部

令和元年度愛知県高等学校新人体育大会

ラグビーフットボール競技 名南知多支部予選会

優勝 → 県大会へ

令和元年度愛知県高等学校新人体育大会

ラグビーフットボール競技 愛知県大会

ベスト8

卒業生の合格体験記

●名古屋市立大学 人文社会学部 現代社会学科

私がこの進路に決めたのは、去年の7月ととても遅いものでした。試験日は11月23日と全く期間がなく、これで大丈夫なのか心配されていました。しかし、先生方、同級生のみんな、そして両親の支えがあって受験を乗り越え、合格することができました。

志望校を決めたのは遅かったものの、進路のことは3年生に上がる頃には考え始めていました。同年5月に開催された私学展にも参加し、そこで一度志望校は自分の中で固まりました。しかし、家に帰り親に話したところ、「私立大学は高すぎる、公立にしろさい」と学費を指摘され、私は次の志望校を探す気力も無く、その頃大会の近かった部活動に専念しました。そして7月、部活動に熱を入れて勉強をしていなかった私は三者面談で焦りました。何とかならないかと3人で話していた時、担任の先生がある提案をしてくださりました。それは、国公立の一般推薦でした。この方法なら、勉強の遅れも気にならず、評定もそれなりにあったので、一般推薦に挑戦してみるということになりました。しかし、推薦入試といっても相手は国公立。当時は不安しかありませんでした。

入試に向けてまず始めたことは、プレゼンテーションのテーマ決めでした。私の目指した学科の入試科目はプレゼンテーション、面接、そして小論文でした。プレゼンの内容としては「今起きている社会問題について述べ、その解決、緩和の策を発表せよ」といったものでした。私はそこで、海洋プラスチックごみ問題について発表することにしました。その頃から新聞やインターネットの情報を調べ、特に環境問題についてよく知るように心がけました。しかし、それだけでなく自分の目で現状を調査し、海洋プラスチックごみ問題についての理解を深めたいと思うようになりました。

まず、名古屋市港区の53の商業施設に足を運び、レジ袋の配布状況の調査を行いました。この調査により、ほぼ全ての店で当たり前前にレジ袋を配布していることがわかり、社会全体としても意識が低いことを実感しました。また、私たちの世代がどれほど海洋プラス

普通科 関口 拓弥（名古屋市立港南中学校出身）

チックごみ問題について知っているのか、行動をしているのかが気になり、同級生の一部（314名）にアンケートを取り集計しました。半数の人がこの問題について知っていましたが、その中でもプラスチックごみを減らすための行動をとっている人は約3割という少ない数字でした。ごみの分別やマイバッグの使用、レジ袋をもらわないという行動をしている人もいましたが、若い世代がプラスチックごみ問題にあまり興味がないということがわかりました。

調査の過程で会社や自治体に電話をし、机上論ではわかり切らないところまで調査をしました。それらをもとに、プラスチック製品のデポジット回収と、天然素材で作られたキャッサババッグの提案をすることにしました。ここまで読んでみると、私が自分で動き、調べ、とことん追求する立派な受験生に見えるかもしれません。しかし、全て1人でできたわけではありません。大半は、先生の力なくしては成り立たなかったものでした。プレゼンテーションばかりに気を取られていた私は、願書を後回しにし、直前まで手を付けず周りを巻き込んだの大騒ぎでした。きちんと段取りをして進めるべきだった、本当に迷惑をかけたなと反省しています。

「私は公立大学に合格しました」、これだけ見てみると偉大なものを感じます。しかし、ふたを開けてみると決して華やかなものではありません。まさに崖っぷちそのものです。周りの人々が手を差し伸べてくれなければ、今頃どうなっていたかと今でも思います。人の助け合い、温かさがどれほど大切か改めて知りました。皆さんは、こうならないよう、良い面だけを真似て、悪い面からは学んでください。そして後悔しないように高校3年生を送ってください。進路を決める時には、決して楽な道なんてありません。楽な道を探さないでください。ゴールに向かって近道をしようとする後で後悔します。ゆっくりと、遠回りをするつもりで、受験勉強、部活動を頑張ってください。「遠回りこそが最短の道のり」です。

●アイシン精機株式会社

私は、就職先を決めるギリギリまで就職にしようか進学にしようか迷っていました。そんな時、就職担当の先生が「こんな就職先はどうか?」と教えてくれたのがアイシン精機でした。最初はホントにそこでもいいのかなどたくさん悩んだけれど、ただ行っても無駄になってしまうかもしれない大学(専門学校)よりも自立し社会の一員になることを選びました。

私が就職の準備でつまづいたのは面接練習でした。アイシン精機の面接試験は50分あり、どんな質問が来るかわからない。そのためどんな内容の質問にでも答えられるような応対力を身に付けておかなければなりませんでした。そのため、就職試験に向けて夏休みから城所先生の面接対策講座を受講しました。9月に入ると、放課は友だち、ST後にはたくさん先生の先生方と面接練習をしました。毎日頭の中は就職のことといっぱいで、家に帰って徹夜して先生にアドバイスされた文章を直したり、文章をスラスラ話せるよう練習をしました。たくさん面接練習をしていくと、キツイことを先生に言われたり文化祭の大変な時期に練習と面接が被ったりしていて挫折しそうなことが何度もあり

商業科 宇佐美 侍穂（津島市立神守中学校出身）

ました。そんな時に声を掛けてくれたのが一緒に就職をしようとしている商業科の仲間でした。その時感じたのが、「やっぱり商業科ってたくさんさんの検定をみんなで乗り越えてきた分、友情もその分熱いな」と感じました。仲間のおかげで頑張りきることができました。

面接試験では、練習してきたことも聞かれ、予想外だったことも聞かれましたが、たくさんさんの人と面接練習をしてきたことで応対力も高まり、自分に自信を持ちしっかりと全ての質問に答えることができました。数日後、「合格通知」が届きホッとなりました。しかし、自分は終わってホッとしているけど他の子たちはまだ終わってない子もいる。そう思い、他の子たちの力になりたいと思いたくさんの子の面接練習の相手をしました。

私は、就職試験を通して自分に自信を持つことはもちろん、助け合いをすることがとても重要であると感じました。これから、慣れない環境で慣れない仕事をしていくことで不安なことや挫折することたくさんあると思いますが、この時感じた気持ちを忘れず、これからもたくさんの人と助け合えるそんなステキな社会人になりたいと思います。

●名古屋音楽大学 音楽学部 器楽学科

私は合格を貰えるのが少ない特待生試験に、3年間の成長を感じたいという思いで挑戦しました。何年も前から準備をしている人がほとんどの中、私は3年生の半分以上が過ぎた頃手探りで曲を探し始めました。受験曲が決まり練習を始めた頃、1曲変更することを決めました。私は仕上がるまで最低でも3カ月かかる中、受験の2カ月弱前に変更することはとても勇気のいることでしたが、曲の雰囲気やプログラムの構成を考えた結果この決断は間違っていないと私は思います。1つの曲がなかなか仕上がらず、気がつけば受験1カ月前になっていました。どう練習をしても音がはまらなく、その曲を弾くことが嫌になっていましたが、何としてもこの曲を仕上げた

いという思いで、座る位置、指の広げ方などいろいろな研究をしました。するとある日を境に突然弾けるようになり、嬉しい思いと同時に、あのとき諦めずやり続けてよかったと感じました。この気持ちになれたのは、ご指導してくださった先生、サポートしてくれた家族がいたからだと思います。たくさんの方々を支えられ私はここまで頑張ることができました。支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れず、これからも音楽を楽しんで学びたいと思います。1次試験では自分の思うような演奏ができず、とても悔しい気持ちがあったので今2次試験に挑戦中です。悔いが残らないように最後の試験頑張りたいと思います。

(注:この文章は2次試験前に書かれています)

2019年度就職・入試合合格状況(一部) 2020/3/1現在 現役のみ

四年制大学

同朋大学
名古屋音楽大学
名古屋造形大学
大谷大学
愛知県立芸術大学
名古屋市立大学
愛知大学
愛知学院大学
愛知工業大学
愛知淑徳大学
金城学院大学
至学館大学
修文大学
椋山女学園大学
大同大学
中京大学

短期大学

中部大学
東海学園大学
名古屋外国語大学
名古屋学院大学
名古屋芸術大学
名古屋文理大学
日本福祉大学
人間環境大学
名城大学
岐阜医療科学大学
岐阜協立大学
岐阜聖徳学園大学
共立女子大学
帝京大学
日本大学
文化学園大学
昭和音楽大学
静岡理工科大学

専門学校

愛知県立総合看護専門学校
名古屋市立中央看護専門学校
愛生会看護専門学校
愛北看護専門学校
えきさい看護専門学校
中部労災看護専門学校
尾北看護専門学校
愛知県立農業大学校
国際医学技術専門学校
星城大学リハビリテーション学院
中部リハビリテーション専門学校
東海医療科学専門学校 など

就職

愛知県警察
アイシン精機株式会社
イオンリテール株式会社
サントリービバレッジサービス株式会社
東海旅客鉄道株式会社
新星工業株式会社
株式会社センゾー
TBCグループ株式会社
凸版物流株式会社
豊田合成株式会社
トヨタ自動車株式会社
株式会社トヨタレンタリース名古屋
名古屋鉄道株式会社
株式会社名古屋三越
日本通運株式会社 など

ゼロからの愛知県知事顕彰全員受領

311 中村 和真（名古屋市立豊国中学校出身）

商業科目は全員がゼロからのスタートです。わからない商業科目で頼ることができるのは、最初は先生しかいませんでした。授業にも慣れて、それぞれの得意不得意な商業科目がわかるなど、検定が近づいてきた頃になると、私たちは先生の力だけでなく、周りの友達同士で自然と教え合うことが増えました。検定全員合格を目標に団結して努力してきました。その結果、商業科創設以来初となる全員が愛知県知事から職業教育技術顕彰を受領することができました。私はこの3年間で多くの資格を習得してきましたが、それ以外にも仲間と助け合うこと、同じ目標に向かって切磋琢磨することの大切さも学ぶことができました。商業科目に興味がある人、新しいことに挑戦してみたい人は商業科に進んで自分の強みを得られる高校生活を送って欲しいです。ここで学んだ何か新しいことに取り組むことの大切さを今後の自分の人生に少しでも活かしていきたいです。

全国商業高等学校協会主催検定試験

4種目一級合格者

310 市川 愛梨（名古屋市立港南中学校出身）
310 渋谷 心音（名古屋市立高針台中学校出身）
310 馬塚 光希（名古屋市立黄金中学校出身）
311 中村 和真（名古屋市立豊国中学校出身）

3種目一級合格者

310 伊藤 あかり（津島市立神守中学校出身）
310 田口 真帆（名古屋市立比津中学校出身）
310 森 伊吹（北名古屋市立訓原中学校出身）
311 濱岡 萌（春日井市立中部中学校出身）

退職・離任のご挨拶

Thank you, Doho High School



梅田 功

“いい出会い”が
自分を変えてくれた

「教師にだけは絶対なるまい」と思っていた自分が、他校での経験を含め37年間の教員生活を全うできたなんて、とても不思議な気持ちです。高校時代、人を成績というモノサシばかりで評価する学校や生徒の考え方に人間不信に陥りました。そんな自分が、大学の寮生活の中で出会った人たちのおかげで、人を多面的に見ることの大切さを知り、「人間っていいな」と思えるようになりました。「教師になろう」と大学4年になってから決めたのは、学生のために惜しみなく面倒を見てくださったゼミの先生に出会えたことが大きかったと思います。こうした出会いがなければ同朋高校での私はありませんでした。言えることは「なりたい自分」を持ち、かなえたい「夢」や「希望」を持って努力を続けていたら、“いい出会い”と呼び込めるということです。苦しいことも幾つもありました。でも、「ピンチの時こそチャンス」と思い、今できることを精一杯やってみよう、それで駄目だったら仕方がないというくらいに思っていてきました。自分一人だけで考え過ぎず、考えたらすぐ行動する。人に頼る。そう思っていていたら、自分の思い描く解決とは違う方法で、違う方向から「助け」が来ることがありました。何とかしようと思っていれば、何とかなるものです。これまで私を育てて頂いた同朋高校の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。これからも“いい出会い”があることを願って一。



加古 敦久

高校生のみなさん

「先生、あの時はありがとうございました」。仕事で職員室を訪れた卒業生が、私を見つけて声を掛けてくれました。担任をした生徒だったので、「ありがとう」と言われるのもわからなくはないのですが、別段これといって何かをしたという記憶もありませんでした。「授業中、私がボーッと外を見ていたら、『時間を大切にしないさ』と注意されたんです。それ以来勉強に力を入れ、大学に入り、こうして仕事をしています」。

冗談みたいな話です。でも、きっと彼女は心の底に「このままではいけない」という思いを持っていたのでしょう。私の掛けた声が、ひとつのきっかけになったのです。

「物事はそれを意識すればやがて実現できる」と言う人もいます。逆を考えれば、「何とかしようと思ってもいない人に話しても意味が無い」ということです。みなさんは、毎日の授業をどんな気持ちで受けているのでしょうか。

ぜひ、高校生という“とき”を大切にしてください。若い人は、本来成長する“生きもの”なのですから。



湊 俊夫

退任にあたって

私は山口県下関市で高校時代まで過ごしました。故郷を離れて40年以上たっても小学校・中学校や高校時代の友人たちは、遠くにいる私に声を掛けてくれて、時々会うことがあります。かつて友人たちは私が名古屋の高校で教員をやっていると知った時、皆、ビックリしていました。何故なら私は高校を卒業して北九州市の映画館に就職をしていたことを知っていたからです。高卒では教員免許を取得することができないのも友人たちはよく知っています。

しかしながら、その後、フツ「大学にでも行ってみようかな……」とあって大学を1校だけ受験しました。落ちていたらそのまま映画館で働き続けていたでしょう。私は映画や演劇というものが好きだったので、それはそれで幸せだったと思います。その頃、良質な映画を通して、多くの人の心に幸福を与えるという役割を果たそうと思っていました。ところが大学に合格してしまいました。自分が合格をしたから、自分にはじかれて不合格になった受験生もいたはず。そんな思いを持って大学生活を送りました。当然、4年間の学費も生活費もすべて自分で支払いしました。それはとてつもなく素晴らしい経験でした。そのことで「ツライ」と思ったこともありません。

そして4年間の大学生活を終えて同朋高校に赴任。私は、教員として多くの人の心に幸福を与えるということができたのかどうかは大きな疑問も残ります。でも「人間はいつからだって変わることはできる」「多くの人の心に幸福を与える」……この2つだけは自分の心には残っていました。

こうした高校生までに培った人生観が、今でも遠くの故郷の友人とも繋がることができている背景かなと感じています。皆さんにささやかな自分の経験をお伝えして37年間の同朋高校での生活を終えたいと思います。



三井 陽子

退任にあたって

36年前に同朋高校へ来た時、大先輩の先生が「10年後にこの学校が残っているかどうかわからないが、『あんなおもしろい学校があったな』と言われるような学校をつくろうじゃないか」と話していたのを覚えています。(当時、私学の置かれている状況は大変厳しいものだったのです。)就職したばかりで「学校がつぶれるかも」と聞いてショックを受けたのと同時に、そこに集う先生方の、同朋高校や生徒への熱い思いを感じてわくわくもしました。

同朋高校の先輩教師には「まるで金八先生みたい」と思うような先生がたくさんいて、それぞれのスタイルで熱く生徒の指導をしていました。意見のぶつかり合いもたくさんありましたが、『生徒のためになることなら』と一致団結する姿がありました。私はそんな先輩たちに教えられ助けられて、教師としての道を歩んできました。

いよいよ同朋高校を去る今、先輩たちから受け取った「熱」を少しは次に伝えることができたのだろうか振り返っています。また、ここで出会った数え切れないほどの生徒たちと過ごした日々が本当に貴重だったことを、改めて感じています。

「新しき靴で春の野を行かむ」

わが家のような同朋高校を「卒業」し、私も新たなスタートを切ります。皆さんありがとうございました。



安藤 瑞基

離任のあいさつ

このたび、3月31日をもって同朋高校を離れることになりました。今回このような紙面をくださり、ありがとうございます。

同朋高校に着任した時、目の前にいたのは18歳の高校生でした。僕は3人兄弟なのですが、当時の三男と同年です。何だか不思議な感覚でした。努めて「先生」らしく振舞おうとして空回りしました。翌年からの3年間は初めての担任をもちました。「先生」らしさはなく、少し年上のお兄さん、くらいだったかもしれません。しかし僕の仕事は「先生」、つまり「教師」です。教え、導く師となる仕事です。その気持ちは常に頭の片隅にあったのではないかと思います。

思えば僕が高校生の時は、「先生」という仕事に漠然と興味があっただけでした。強い動機があったわけではありません。教育実習をしている中で徐々に「あ、この仕事いいな」と思うようになったのです。同朋で過ごす中で、さらにこの仕事の奥深さを知りました。「この仕事いいな」という思いも強くなりました。5年前よりも「先生」に近づいた気がします。去年よりも今年、今年よりも来年、「先生」を極めていくのだと思います。きっとこの仕事を続ける限り、年々僕は僕らしくなるのだと思います。

続ければ本物になります。本物は続くものです。皆さんとの出会いが、僕をここまで続けさせてくれました。このご縁に感謝します。



小林 秋良

山川異域 風月同天

3月末日をもって、私事都合で退職することとしました。

1年生、特に1組と3組の皆さんからは、楽しい時間をいただきました。そして、若いエネルギーにたくさん励まされました。皆さんのおかげで充実した時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

「山川異域 風月同天」これは、長屋王が唐の僧 鑑真を日本に招く際に贈ったとされる漢詩です。場所は違っても、同じ自然を共有しているという意味です。私の心境はまさにこの漢詩のとおりです。生活する場所は違う所になりますが共有する自然の下で、生徒の皆さんの頑張り、先生方のご努力、そして、同朋高等学校のよさを、同朋高等学校の応援団として、たくさんの人に伝えていこうと思っています。

最後になりましたが、生徒の皆さんと先生方のご活躍をお祈りすると共に、同朋高等学校のさらなるご発展をお祈りいたします。本当にお世話になりました。